

備前焼は日本最古の「やきもの」ですが、
その大きな特徴は上釉を用いない土味、火色にあり、
火加減によりできる千変万化の窯変は備前焼のみが持つ魅力です。
備前地方だけにある粘土に陶工の魂が注がれ、私の窯では十五昼夜焚き、
千三百度の高温で焼きしめると伝統美を持つ備前焼が誕生するのです。
この自然美こそ、多くの愛好者によりこばれるところですよ。



啓衆陶生

備前焼作家

生陶衆啓 作陶展

炎と生きる

2004年4月11日(日) ▶ 5月9日(日)

開 館：水曜日～日曜日(休館日：月・火曜日 但し祝日は開館)

午前9:30～午後5:00 入場は午後4:45まで

入 場 料：一 般/500円 学生以下/400円 未就学児/無 料

ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)

MIURART VILLAGE
MIURART

備前焼作家
生陶衆啓 作陶展

炎と生きる



①「窯変尻張り大徳利」

縦20.5×横27.0cm

②「窯変茶入」

縦6.3×横9.3cm

③「窯変古備前風壺」

縦20.0×横24.3cm

作品数 約150点



今回は備前焼陶芸家、生陶衆啓師の作陶展「炎と生きる」を企画いたしました。

備前は我が国の長い歴史を持つ六古窯といわれる窯の中でも最も古い窯です。無釉焼き締めの伝統を守り続け、一千年にわたって窯の炎を大切に守ってきたということです。

無釉の良さは、土と炎とが自然に造りだすぬくもりにあります。さらに陶芸家の人間性が、作品を、より暖かみのあるものにしていくと思われまふ。

生陶衆啓師とミウラート・ヴィレッジとの関わりは、当館創設者故三浦保前会長が、「泥酔会」という経営者仲間のアマチュア陶芸クラブを結成し、熱心に活動されていた頃、その会員であった前愛媛銀行会長故森信義氏を介して、作品を登り窯に入れていただいたのが始まりです。陶芸のご指導を賜り、その後、師の仕事場を訪問し、作陶をさせていただくなど、陶芸を愛する仲間同士として楽しませていただいたように伺っております。

師とは、お二人が他界された今も変わりなく、交流を続けていただいております。

本展では、師の物事にこだわらない豪放磊落なお人柄に、作品を通して是非触れていただきたいと思います。そして師のファンでもあった、かつての泥酔会の諸先輩との交友関係をも、ご想像願えれば幸いです。

ミウラートヴィレッジ館長

陶芸ワークショップ

作家によるワークショップを開催します。参加希望の方は、電話でお申込みください。
(定員になり次第終了とさせていただきます。)

・親子向け…5月2日(日)・3日(月)10:00~12:00
両日とも15組(30名)限定
参加費:大人・子供とも、お一人様500円(入館料込み)



ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)

〒799-2651 愛媛県松山市堀江町 1165-1
TEL 089-978-6838 FAX 089-978-0323
<http://www.miuraz.co.jp/miurart>
E-mail: fvb@2360@mb.infoweb.ne.jp

駐車場: 30台 臨時駐車場(三浦工業(株) 福角駐車場)がご利用になれます。
場 所: ◆ JR松山駅より市内電車にて松山市駅へ、伊予鉄バス 北条行き「内宮バス停」下車、徒歩約10分
◆ 松山空港より車で約30分

MIURART VILLAGE
MIURART